

こんにちは 山田耕平 です

2017.6.8 No.272

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>



高円寺地域の学校統廃合による巨大校舎建設計画

住民弾圧の暴挙！ 杉並区でスラップ訴訟

東京新聞 TOKYO Web

【社会】
杉並の小中一貫校工事 業者が反対住民訴える 「妨害」中止の仮処分申請

東京新聞が報じたように、高円寺地域の小中一貫校の整備に反対し、抗議活動をしている近隣住民に対し、工事を受け負った業者らが「工事妨害」として中止を求め仮処分を東京地裁に申し立てた。十一日、第一回審理の判決が下され、仮処分が認められると主張している住民側は「運動の強硬化ならつたスラップ訴訟（恫喝（どくわ））」と反発している。（取材：野村）



申し立てたのは、区立高円寺中学校の校舎に新築される「仮設校舎（杉並区）」を建設する共同企業体（JV）。申立書は高円寺二丁目七番、六十九〜七十一番の近隣住民八人が署名した。

十一日の審理は非公開で行われ、両者の代理人らによる。裁判官が業者側に妨害行為をさらに特定して資料を出すよう求めたという。

申立書によると、住民らがブロードウェイを挟んで作業員や工事車両の前には立ち入り禁止の看板を掲げ、大声で抗議するなどしたため、ブルドーザーの解体工事などに着手できず、工期が遅れたと主張。工期の遅延を理由として、業者側が仮処分を申し立てた。

住民側は「作業員らに、区との話し合いや折衝を促すまで工事を受けようとした。計画への反対を訴えるのは、憲法が定める表現の自由の範囲内だ」と反論している。

一貫校は、高円寺中と近隣の二つの小学校を統合し、高円寺中の校舎は四層建てだが、仮校舎は高さ約二八メートルの建て増しとなる。住民側は区への記録簿を提出し、学区に建てられた考え、学区で生まれた考え、学区の教育環境としてみれば、区に建てた方がよいと主張。区は話し合いを拒否してきた。しかし、区は「計画変更は関係ない」として、住民と平行線をたっている。

訴えられた女性の中には「この申し立てを裁判官が認めるようであれば、物が買えなくなる」といった。業者側の代理人弁護士は「不利益を被っているのだから申し立てた。憲法効果をねらっているのは裁判官の判断だ」と述べた。

＜スラップ（SLAPP）訴訟＞ 「strategic lawsuit against public participation」の頭文字を取った略称。米国で生まれた考え、住民側が自治体や企業に対する戦略的訴訟だ。が、「恫喝訴訟」などと訳される。大企業や公的機関などが市民運動を萎縮させたり、ジャーナリストによる取材を阻害したりする目的で、業務妨害や名誉毀損（きんげん）などを理由に訴えることを指す。

東京新聞2017年5月12日付け（上）で詳細が報道され、その後、多くのマスコミにも取り上げられる事態に。



杉並区役所前では近隣住民と住民側弁護士が区への対応の改善を求めて切実な声をあげた。

この間、杉並区は近隣住民の住環境への影響等を懸念する声を無視し、巨大校舎建設計画を強行。建設現場の対応は工事業者に丸投げしてきました。

区の極めて無責任な姿勢が、地方自治体の公共工事では異例の事態となる「スラップ訴訟」に繋がりました。この事態は、多くのマスコミが取り上げています。

前代未聞の事態に… 公共工事業者が住民を訴え

高円寺地域で進められる小中一貫校の巨大校舎建設計画（※詳細は裏面参照）で、工事業者が近隣住民に対し、抗議行動の中止を求め仮処分を申し立てました。巨大校舎建設計画により、住環境を脅かされる住民の抗議行動（プラカードを掲げる等）を恫喝し、委縮させることを目的とした「スラップ訴訟」です。

スラップ訴訟とは？

スラップ訴訟とは「住民の行動に対する戦略的な対抗訴訟」の英訳の頭文字をとった言葉で、通称「恫喝訴訟」とも言われています。

権力を持った企業や政府等の優越者が「公の場での発言や政府・自治体などの対応を求めて行動を起こした、権力を持たない弱者や個人・市民・被害者に対して、威圧的、恫喝的、報復的な「いやがらせ」を目的として起こす訴訟です。

被告となった側は法廷準備費用、時間的拘束等の負担を強いられるため、仮に原告が敗訴しても、主目的の「いやがらせ」は達成されます。

欧米では、スラップ訴訟が表現の自由を揺るがす行為として大きな問題となっており、法律で禁じている自治体もあります。

教育施設としても重大問題 住民との対話と計画見直しを

本来、学校施設とは地域コミュニティの拠点です。区の教育ビジョンでも「地域・学校が協働し、共に支える教育を進める」としています。

しかし、学校を建設する際に、地元住民がその校舎により安心して暮らせる住環境を脅かされ、行政からも対話を拒絶され、抗議をすればスラップ訴訟を起こされる…、まさに、異常極まりない事態であり、区の教育方針とも矛盾するものです。

区は直ちに工事を中止し、住民との対話により問題解決に取り組むべきです。

工事業者による盗撮の実態も明らかに（裏面）

スラップ訴訟を起こした高円寺小中一貫校建設業者

住民説明会で隠し撮り 重大な人権侵害

巨大校舎の全容

高円寺地域で進められる小中一貫校計画では、中学校一校分（高円寺中）の用地に3.5校分の子どもが通う巨大校舎を建設することになります。そのため、校舎が60m×70m×高さ30mという巨大な構造物となります。計画用地の周辺は閑静な住宅街が広がっており、巨大校舎の影響は深刻です。



巨大校舎の建設イメージ図（赤点線の枠内）

今回の工事業者は、スラップ訴訟を起こすことを前提に、工事着工以前から住民を監視していたことが明らかとなつていいます。訴訟では、訴えられた住民の写真と氏名が裁判資料として提出されています。その写真は、昨年12月17日、杉並区が主催した工事説明会で建設業者が参加した住民の様子を隠し撮りしていたものであり、当時、住民がプラカードを掲げての抗議行動などを行なっていない段階から、建設業者が住民を監視していた実態が明らかとなりました。住民の肖像権やプライバシー権を蹂躪する重大な人権侵害行為です。

杉並区、業者の隠し撮りを容認

杉並区は住民説明会において、参加者を撮影することも告知しておらず、工事業者の隠し撮りについては「記録用として撮影の必要があると判断したと認識している」「画像の消去などを指導する考えはない」と盗撮を容認する見解を示しました。行政などの公権力が、自ら委託した公共事業の建設業者による住民への人権侵害行為を認めるなど、到底、許されないこととです。杉並区が住民の人権を守る姿勢を堅持し、事業者に対して、厳格な指導を行なうよう求めます。

育メン日誌

いよいよ操法大会！全力疾走！

6月11日（日）午前、荻窪消防団の操法大会が開催されます。各分団が日頃の訓練の成果を競い合う、消防団最大のイベントです。私は今年も操法の選手（2番員：ホースを全速力で運ぶポジション）となり、日夜、全力疾走しています。

訓練が開始された3ヵ月間、連日、筋肉痛に悩まされ、体力勝負でなんとか乗り越えてきた日々でした（苦笑）。最後まで気を抜かず、良い結果を出せるよう頑張ります！



ホースを支えているのが山田です。大会の見学にお越しください。6月11日（日）9時30分頃、上井草スポーツセンター

6.17 日本共産党 北部地域 都政報告会

豊洲問題・百条委員会、オリンピック経費問題
5期20年 地域のみなさんには大変お世話になりました！
吉田信夫都議 議員活動締め括りの都政報告会

どうなる？ **豊洲** どうする？
報告：都議会議員 吉田信夫

2017年6月17日（土）
開場13:15 開始13:30

杉並区立・井草地域区民センター
第1・2集会室（一体使用）
住所：杉並区下井草5-7-22 Tel：03-3301-7723

都議選挙予定候補
吉田信夫とハトタッチ
はらた 原田あきひろ
【お問合せ】
杉並区議会議員 山田耕平
090-9973-0941

主催：日本共産党山田耕平地域後援会
杉並区民新聞 2017年6月号外 杉並区民新聞社 杉並区利用12-12-21
日本共産党杉並区支部は以上を見解を発表しました。

ぜひ、ご参加ください！